

クラブフォーラム（公共イメージ向上） 2018年7月3日

公共イメージ向上委員会の山田善彦委員長が

「ロータリー活動と公共イメージについて考える」というテーマでお話をして下さいました。

山田 善彦 公共イメージ向上委員長

企業においても「イメージ戦略」が重要であるように、ロータリークラブでも「公共イメージの向上」へ取り組むことは必要なのですが、これまではそれが十分になされていなかったのではないかと反省がありました。それはロータリークラブの認知度の低さからも言えることです。最近、会員の減少も深刻な問題となっております。そこで、「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどこが違うのか」「なぜロータリークラブが必要とされるのか」ということを皆様と一緒に考え、ひとりひとりが答えを見つけて頂く為の良い機会になればと考え、話しをさせて頂きます。バリー・ラシン国際ロータリー会長は、今年度のテーマを「Be the inspiration (インスピレーションになろう)」と決めました。それを発表している場面をパソコンから検索して動画で見ることが今では出来るのです。どうでしょうか。音声のみでしたが、大変に力強いお声で、熱意が肌で感じられます。(動画をご覧になりたい方は、マイロータリーのホームページをご覧ください。) ポリオ撲滅についてもあと僅かということで演出効果を狙った取り上げ方をしていました。このように、キーワードに「ロータリークラブ」等と入れて検索すれば、様々の情報は既に用意されているのですが、なかなかそこまで辿り着けない。関心を持って頂く為にはどうしたら良いでしょうか。私は、こう思うのです。常に世の中と繋がっていること、身近な存在として在り続けること。繋がるという意味では、まずはメンバーの皆さんが国際ロータリーと繋がっていて下さい。「マイロータリー」に登録して頂きたいのです。そして、私たちひとりひとりがロータリーバッチをつけて活動することで情報を発信していくことが大事なことであり、お互いにリスペクトし合う関係を保ち続けることがロータリークラブの醍醐味であり、大切なことではないかと思うのです。今日の話が皆様にとって何かしらインスパイアされるものであったなら幸いに思います。ご清聴、有難うございました。

